

# 陶磁器用釉薬に関する研修

## 【内 容】

笠間焼産地内では、陶芸技法や生産技術の継承のための教育、指導が日々行われています。しかし、釉薬の科学的理論に関する教育や指導の環境が整っている製陶所や工房は少ないと言えます。そこで、当センターでは釉薬に関する基礎的な理論習得や、当センターの設備を利用した研究開発力・課題解決力の強化を目的とした研修を実施しています。

## 【研修内容】

釉薬基礎知識習得を目的として当センターが研修の内容や時期を設定する「レディメイドコース」、及び個別の要望や課題解決に向けフレキシブルに対応する「オーダーメイドコース」の 2 コースで研修を行っております。

表 1 釉薬研修のコース概要

| コース名       | 目 的                                     | 時 期                     | 内 容                |
|------------|-----------------------------------------|-------------------------|--------------------|
| レディメイドコース  | ・ 釉薬基礎知識の習得                             | 6 月上旬～7 月末<br>(約 40 日間) | 講義および<br>指定課題実習    |
| オーダーメイドコース | ・ 釉薬開発手法の習得<br>・ 新規釉薬の開発<br>・ 既存釉薬の改良 等 | 要望に応じる                  | 課題解決のための<br>個別課題実習 |

平成 28 年度は、レディメイドコース 1 名、オーダーメイドコース 2 名を受け入れました。

### (1) レディメイドコース (1 名)

- ・ 講義：原料の特徴や役割、釉薬の化学等、基礎的な理論に関しての座学
- ・ 指定課題実習：三角座標、ゼーゲル座標等の基本的な釉薬試験方法による実習
- ・ 研修期間：6 月 1 日～7 月 29 日 (42 日間)

### (2) オーダーメイドコース (2 名)

#### ①青磁釉の開発

- ・ 目的：釉薬開発手法習得と新規釉薬開発
- ・ 研修期間：8 月 1 日～9 月 30 日  
(延べ 20 日間)
- ・ 平成 29 年春の商品化に向け、得られた釉薬を用いた試作を実施中

#### ②マット釉の開発

- ・ 目的：釉薬開発手法習得と新規釉薬開発
- ・ 研修期間：10 月 1 日～2 月 28 日  
(延べ 80 日程度)
- ・ 平成 29 年度中の新商品販売開始を目指して下絵との相性等も検討中



(左：三角座標、右：ゼーゲル座標)

図 1 レディメイドコース釉薬試験片



図 2 「青磁釉の開発」試験片および試作品

## 基礎となった事業

平成 28 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (受託研究)

### 現在の担当部門

工芸・材料技術部門

部 門 長

寺門 秀人

TEL:0296-72-0316

主任研究員

吉田 博和